

# 令和2年産 普通期水稻育苗情報

令和2年4月  
北筑前普及指導センター  
J A む な か た

## 床土の準備

### ①黒粒培土の場合

- ・床土 2.5kg+覆土 1kg が目安。
- ・昨年開封した残りは使用しない(カビ等が発生しやすい)。

### ②山土の場合

- ・pHが 5.0~6.5 (5.0~5.5 が望ましい)のものに、籾殻くん炭を容積比で3割程度混ぜる。
- ・1箱当たり4~5ℓ準備し、播種1週間前に育苗肥料 4-4-4 を1箱当たり 25g (500g/20箱)よく混ぜる。
- ・休耕田や紋枯病多発田、畑作後の土は使用しない。

## 塩水選

- ・浮き粳が多い場合は、塩水濃度を比重 1.08 まで薄めても問題ない。(うるちの場合)
- ・塩水選が終わったら、よく水洗いする。

比重	水10ℓに溶かす量	
	食塩	硫酸
1.08 (もち)	1.11kg	1.46kg
1.10 (うるち)	1.42kg	1.92kg
1.13 (うるち)	1.94kg	2.68kg

※図1参照

## 種子消毒

- ・下記の2つの薬剤混用で、24時間浸漬する。

農薬名	種子	希釈水量	薬量	倍率
テクリードCフロアブル	10kg の場合	20ℓ	100 ml	200 倍
スミチオン乳剤			20 ml	1000 倍

- ◎種子消毒後は軽く薬液をきって、そのまま浸種にはいる。(風乾や水洗いの必要は無い)
- ◎種子消毒の効果を高め均一に催芽を行うため、種子袋に入れる種粳の量は、袋の6割程度とし、袋いっぱい詰めて余裕をもたせること。

## 浸種・催芽

- ・日当たりの良い場所に置き、1日1回、水を交換する。  
※図2参照
- ・催芽機利用の場合は、初日から加温しない。  
(目安 30℃以内)。
- ・浸種に要する日数は、平均水温20℃で種子消毒を含め5日(積算温度 100℃)。
- ・播種前日に種子を取り出し、催芽処理を兼ねて水切りを行う。
- ・仕上げはハトムネ状態(幼芽長 0.5~1.0mmで9割程度芽を切ったことをしっかり確認する。) ※図3参照

図1 生卵で比重を知る

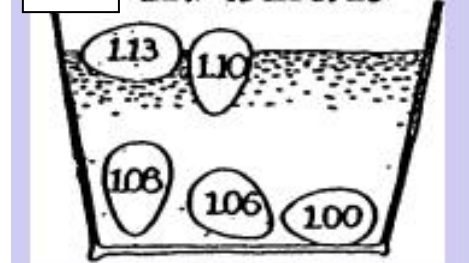


図2

日当たりの良い所に桶を2つ用意し、両方に水を入れ、1つは当日の浸種に使用し、1つは翌日用に日光に当て水温を上げておく。これを1日ごと交互に行う。

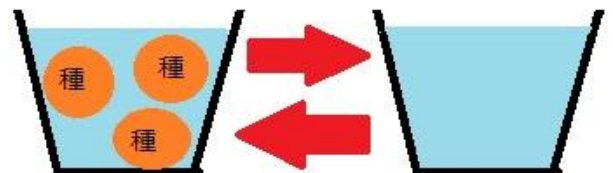


図3



**床土消毒・播種** 薄まきで、丈夫な苗を！

**【苗の種類と播種量の目安】**

苗の種類	目標葉齢	播種量/箱		育苗日数	箱数/10a
		乾籾	催芽籾		
3葉苗	3.1～3.5 葉	120g	150g	20～25 日	17～20 箱
ポット苗	5.1 葉以上	50g	63g	35～40 日	30～33 枚

・準早期(5月田植え)については育苗日数が25日～30日。

農薬	使用方法	適用病害虫	使用回数	使用時期
ダコレート水和剤	<b>400 倍【播種時～緑化期】</b> (水 10ℓに薬 25g) (0.5ℓ/箱)	いもち病 苗立枯病	1回	は種時～緑化期 は種 14 日後まで
ナエファインフロアブル	<b>2000 倍【播種時】</b> (水 10ℓに薬 5ml) (1ℓ/箱) <b>1000～2000 倍【播種時～緑化期】</b> (水 10ℓに薬 10ml～5ml) (0.5ℓ～1ℓ/箱)	ムレ苗防止 苗立枯病 根の生育促進 移植後の活着促進	1回	は種時～緑化期

- ・種子消毒とダコレート水和剤灌注を組み合わせると、いもち病に効果が高い。
- ・ダコレート水和剤とナエファインフロアブルは混用可能です。

**積み重ね出芽**

① 出芽

- ・積み重ね内部の温度が32℃を超えないように調節する。天気の良い日はシートの上にムシロ等で覆い日除けする(25～30℃が目安)。
- ・積み重ね日数は2～3日間。芽が出そろったら(芽長 0.5～1 cm程度)、直ちに広げる。

② 緑化

- ・黒寒冷紗や黒色ラブシートで覆い、緑化を行う。(緑化期間5日程度)
- ・第1葉が展開し、苗長が3～4cmになったら被覆資材を除去する。  
※「元気つくし」は徒長しやすいので他の品種より1～2日早く被覆資材を取り除く。

**平 床 出 芽**

- ・湿害を防ぐため、播種後、日当たりの良い水平なところに育苗箱を広げ、太陽シート等をかける。
- ・過剰の水分を早く取り除く為、育苗箱の下にパイプ又はりん木を敷く。(図参照)
- ・降雨、露等で太陽シートの上に水がたまったら、早急に太陽シートをはぐり、水を取り除く。(水がたまったところは、発芽不良になる)
- ・苗長が4～5cmになったら被覆資材を除去する。(右図参照)  
※「元気つくし」は徒長しやすいので他の品種より1～2日早く被覆資材を取り除く。

**【水やりのポイント】**

- ・過剰な水やりは根張りを悪くする。
- ・灌水は、朝に十分行い、夕方の灌水は避ける。

**追肥・弁当肥**

- ・田植えが予定より遅れ、育苗期間が長くなる場合や、育苗後半に葉色が落ちた場合は、硫安300倍液をジョロで灌注する。  
※硫安水300倍液 田植え3～5日前 500ml/箱

